月刊きょうと教育通信

Vol.３１　平成１７年8月号　発行：京都市教育委員会総務課（℡222-3768）

京都市教育委員会のＨＰはhttp：//www.edu.city.kyoto.jp/でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

多彩な新任委員や市民公募委員を迎え
第27期京都市社会教育委員会議が発足！

7月15日，京都アスニーにおいて，本市の生涯学習推進に向けた提言や助言等を行う京都市社会教育委員会議が学識経験者，スポーツ関係者や地域・ＰＴＡ，63名の応募者から選考された市民公募委員２名等新任委員を含め様々な分野で活躍されている15名の方々を迎え発足しました。

会議では，今後２年間にわたり協議していくテーマを『京都創生と生涯学習～京都の文化の継承・発展，次世代育成のために生涯学習が果たすべき役割～』とすることを決定。今後，「学校教育との連携，子ども京都学・伝統文化，環境教育，スポーツ教育」等具体的なテーマを設け，京都ならではの生涯学習の構築に向け，議論を深めていく予定です。

＜27期委員＞井上満郎（議長：京都産業大学教授），西脇悦子（副議長：京都市地域女性連合会会長），秋道智彌（総合地球環境学研究所教授），梅原ひまり（バイオリニスト），大八木淳史（元ラグビー日本代表），川勝平太（国際日本文化研究センター教授），河野裕子（歌人），齊藤修（京都新聞社取締役），佐伯久子（京都ユネスコ協会会員），塩尻マユミ（向島南小学校長），関口良太（市民公募），寺田慶子（市民公募），畑正高（（株）松栄堂代表取締役），藤原勝紀（京都大学大学院教授），松井憲昭（16年度市Ｐ連会長）

◇ご意見・お問合せ＝生涯学習部（℡222-3183）

経済教育フォーラムを開催！
～全国に経済教育のあり方を発信～

７月３日，総合教育センターで「経済教育フォーラム・京都」を内閣府，(財)日本経済教育センター，京都市教育委員会の主催により，開催しました。

当日は大学，市立学校の教員等を中心とする約300名の参加者の下，篠原総一同志社大学教授の講演後，川口康裕内閣府企画調整課長，篠原教授，堀場雅夫(株)堀場製作所最高顧問，門川大作教育長，湯本崇雄金融広報委事務局長によりパネルディスカッションが行われました。

学校教育における経済教育の必要性や金融教育など現在取り組まれている教育活動について活発な討論が行われました。とりわけ福西小でのアントレプレナー教育，生き方探究・チャレンジ体験推進事業等の職場体験学習など京都市の学校現場での実践に，経済教育を模索されている学者や内閣府の関係者からも，感嘆の声があがるなど，今後の経済教育の推進に向けて考える貴重な機会となりました。

◇ご意見・お問合せ＝学校指導課（℡222-3808）

《７月の主なできごと》

４日　フッ化物洗口研修会。19年度までに全小学校及び総合養護学校で円滑に実施するため，校長等への研修会を開催。

９日　ＰＴＡ会長感謝の集い。16年度のＰＴＡ会長に感謝状を贈呈。併せて京都市少年合唱団等によるPTA親子コンサートも開催。

９日　松ヶ崎小学校プール完成披露式。シンクロでオリンピック銀メダリストの立花美哉さんがお祝いの演技を披露。

11日　新任校長･園長夏季研修会。堀場雅夫（株）堀場製作所最高顧問が組織の最高責任者としての心構えについて講義。

13日　「夏休み家族の宿題」を全家庭に配布。夏休み中に子どもと保護者が一緒に取り組める宿題を提起。

23日　学校歴史博物館企画展「思い出の学校行事」。誰もが学校生活の記憶として残っている標記パネル展等（～10/18　毎週水曜休館）

25日　環境教育研修会。浅岡美恵京都市環境政策顧問を講師に招き，全校の管理職や教育委員会幹部職員が地球温暖化対策や環境教育について考察。

地域ぐるみの安全の取組が全国一の評価に！
川岡小学校に安全功労者内閣総理大臣表彰

子どもを守るための地域ぐるみの創意あふれる地道で継続的な取組が評価され，川岡小学校が全国約２３，５００の小学校の頂点に輝き，７月１日の「国民安全の日」に総理大臣官邸で表彰式が行われました。

川岡小は，「安全な学校，楽しい学校，信頼される学校」を方針に，各教科や学級活動を通して計画的かつ継続的に安全教育に取り組むとともに，児童安全委員会による「声かけ」や「手作りポスター」を実施。さらに，ＰＴＡによる「安全パトロール」等により，児童・保護者等の安全意識の高揚に多大な成果を挙げてこられました。

また，川岡小の安心安全の取組の中核として参画された藤岡一郎京都産業大学大学院教授，俣野武夫自治連会長，福井雅浩PTA会長が青野京子校長とともに門川大作教育長に報告を行い，桝本頼兼市長の感謝状を受けました。

青野校長は，「子どもの安心安全の取組により子どもたちと保護者，地域の方々の間に，挨拶し合える関係ができ始めました。子どもたちが地域の方々に愛され支えられてきたことを心に刻み続け，今後は地域のために自分たちの力を生かしていくことを願っています。」と報告時にコメント。子どもたちへの安全の取組を通して，地域がさらに活性化されることが期待されます。

◇ご意見・お問合せ＝体育健康教育室（℡213-5473）

～指揮者佐渡裕さんが総合プロデュース～

少年合唱団創立50周年記念事業実行委員会発足

市民の大きな期待を受け，全国初の公立少年合唱団として発足した京都市少年合唱団は平成19年に創立50周年を迎えます。その記念事業を企画する実行委員会が，合唱団ＯＢで世界的指揮者の佐渡裕さんを委員長に，市交響楽団・市立芸大・市立音楽高校などの関係者が参集し発足しました。

会議では，佐渡さん自らの，「真の意味で世界に発信でき，輝く未来・次の世代につなげられる事業を展開したい」との熱い思いを込められた提案を受け，19年の記念コンサートを，京都市が誇る音楽団体とのコラボレーションとするなど多彩な企画案が示されました。

今後は，市民と共に祝い，多くの人に合唱団の歌声を届けられるよう，素晴らしいプログラムの実現に向け，具体的な検討が行われます。

◇ご意見・お問合せ＝生徒指導課(℡213-5622)

小野郷小･中学校が休校に

～地元から高雄小･中への学区変更を要望～

小野郷小･中学校区の自治会やＰＴＡの代表が7月22日，教育委員会を訪れ，小野郷学区の児童・生徒が平成19年度から高雄小・中学校に通学できるよう要望書を提出されました。

同校の在籍者数は現在10名（小学校6名，中学校4名）で，これまでから，激減する児童・生徒の教育対策について検討を進めてこられましたが，子どもたちに十分な教育を保障したいという地域の方々が，130年の歴史を持つ学校の休校をご英断されたものです。

小野郷自治会の中西隆会長や小野郷小中ＰＴＡの和田英治会長から要望書を受け取った門川大作教育長は「みなさんの高い志と行動をしっかりと受け止め，今回の決断をして良かったと確信してもらえるような学校づくりを進めたい」と述べました。

今後は，休校となる校舎の活用方法等について，地元と協議しながら検討を進めます。

◇ご意見・お問合せ＝調査課（℡222-3772）